

視聽覺教育

第 6,7 号

岡崎市小中学校視聽覺教育協會

1955



も く じ

◆研究協議会にひろうー研究会点描ー野村晃	2
◆学校映画ライブラリーの 設置と運営協議会	3
◆研究会から学ぶ	4
◆視察報告記	6
◆新購入フィルム of 解説	8
◆視たり聴いたり試したり	11
◆映画感想文	
○母子船	12
○月を見て	12
○二十四の瞳を見て	12
羽根小五年	13
岡崎小五年	14
劇映画の上映禁止をめぐって	15
映写機の購入について	16
二十九年度をかえりみて	17
あとがき	18
大倉京子	
祖父江浩子	
OK生	
堀和正考	
美合小六年	
村上靖子	
長坂睦子	
藤江和子	

研究協議会について



岡崎は、家康の昔から竜城と云われて来ただけに、何争かと云うと兎角雨が多いようだ。前日まで、不眠不休？ は、ちよつと大げさかも知れないが、とに角なんとか当日を迎えた。天気は大変よろしい。ます、この分ならばと一安心。

さて、本日の本分を完うせんものと、カメラを肩にぶら／＼と受付を尋ねれば、予想以上の人にます一驚。受付は、パンフレットが無くなり、はしないかと、ビク／＼ソワ／＼。人が来なければ来ないで心配だし、来れば来るで又、心配だ。気の小さいものでは、とてもつとまらない役

目だ。

会場は、大入り満員。盛会も盛会、余り集まられると、会場の底が抜け、はしないかとヒヤ／＼。会長、その他来賓各位の挨拶と、形の如くに会は進められて行く。段上の主の変わる度にドカン、ドカンとマグネシウムをたたく。その度に会場の人々は、いずれも迷惑そうに私をにらみつける。別に私は、会の進行を妨害しているわけではなく、自分の職務を忠実に履行しているだけなのにねえ。

新しい形式、映画を授業に取り入れて行くと云うので授業はこれ又、立すいの余地なしと云った所、みな熱心に参観してござる。映画をうつつ段になると、生徒より参観者の方が感心して見ておられる。映画教育は、生徒より、先ず先生方へ、と云った所。

何と云つても人の集まりのよい所は展示会、新型映写機、テープレコー

ダー、テレビと熱心に見てござる。併し、操作を知らない迷技師？連があつちをいじり、こつちをまわし、度に、業者はヒヤ／＼してる。私は展示会に一度出品された機械類は、決して買わない事にきめた。あれでこわれていなければ、不思議と云うもの。

協議会ともなれば、一同新潟県のライフルリーの活躍に感心し、岩井先生の名論に感じ入りと云った所。理論に感じ入り、心を新たに学校にもとれども、さて暗幕は張らなければならぬし、映写機は借りものとするのだが、さて／＼思うように行かぬもの。

研究会終りて、ホットする。張りつめた気持がゆるむのか。何と空腹をおぼえる事、研究会とは、びくびくしながら、腹のへるものですねえ。と云うのが、いつわらざる心境です。(野村 晃)

学校映画ライブラリーの 設置と運営協議会

質問（宝飯郡主事）

△教材映画が低学年に少ないから、小学校三年以下に於てのフィルム購入上の留意点と会費徴収に際して配慮されていますか。

答辯

渡辺先生（六名小）教材映画はカリキュラムに記載されている通りですが、少ないので県より借用して部分的な映写をしています。碧南主事「碧南も低学年用が少ないので、未だ購入決定していません。新潟県「少ない上に仲々手に入らない。新潟ではマンガ三十二本とスライドでカバーしている。石川先生（美川中）「低学年用は少ないが、やがて高学年となつて使用出来ることと、講堂映画にて考慮している。

△映写機購入について

矢作西小学校長中川先生、児童に映画を見せてやることとが時間的にも経済的にも困難な矢作町に於ては町当局が計画的に購入を計つて下さつた。

映写機購入計画（昭和二十四年度）

一年に一台ずつ購入

財源として、児童一人五円（一カ月）

町からの補助金

児童……………一九八〇〇〇円

町補助金……………六〇〇〇〇円

（修理費及び管理費は公民館が負担）

斯様にして購入され現在では

エルモ……………二台

エルモホームトーカー……………三台

△ライブラリー設置の動機について

団体観賞は業者によつて誘われて悪幣が起るようになつたから、これの改良策としてライブラリーを設置するようになった。

△映画による学習指導法

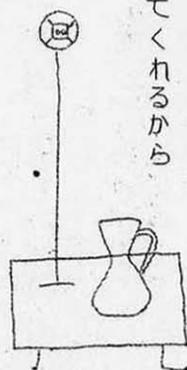
渡辺先生（六名小）本日行いました授業は①現在の水産業をとらえ②将来の水産業を考え



るような考えでやりましたがその①をとらえる方法として映画を上映したが整理段階が少なかったという反省を持っていきます。

岩井講師 現在 日本 の教材映画を使用する考えとして一般には、あれば使うとよい、というような必要度である。このような考え方ではなく今後は学習内容に溶けこんだ、なくてはならない教材映画、という考えを實際授業に使用して一般の人にも理解してもらわなければならぬ。教材というのは事実を第一に出してそれから集約して出す方法といわゆる、だめおし形、即ち理論を出して、それだからこのようでしょうという方法である。だめおし形に映画を使うような経済的余裕は日本にはないから教材映画も使用出来ないであらう。しかし事実から理論に帰納する方法なれば、教材映画を使う方法を用うれば子供たちの自分の力になり得るから必要であって、事実を知らせるためには経済的、時間的にも絶対な有利な方法であるから、現場を受持つ先生方がその必要度を認識し活用すれば社会も理解してくれるから

教育を發展させる
一方法として大い
に發展性を持ってゐる。



研究会から学ぶ

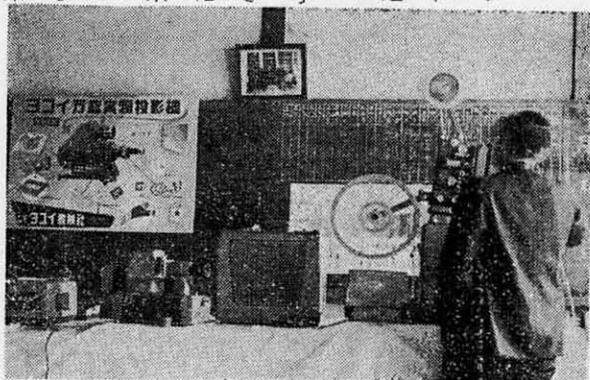
今回の研究会の講師に、国立教育研究所の岩井龍也先生をお願いしようと思ひ、人を介して研究会の目的や開催計画などを送ったところ、主旨がはつきりしないから余り気乗りがしないといったような返信をいただき、稍々ふんがれも、研究会を目前にして甚だあわててしまった。

当初は、他に新潟県の方にも講師が依頼してあり、会の運びがいろいろと、むしろその方が中心のような格好になつてゐるので、そのことが先生の気に障つたのかなと、つまらぬ想像もした。既に案内状は出来上がつて居り、日はどんどん迫つて来るし、全く冷汗ものであった。

幸にも、先生の教育に対する御熱意と寛容な御心持ちにより御指導を頂くことが出来たのは御存知の通りである。

ところで今回の研究会の目的は、学校で映画教育（教材映画）を行うには、どんな設備を、どのようにし

たらよいかという点であった。初年度の目標がそこにあつたし、又指導法を問題にする所まではいつていなかった。ただ副次的に指導法モデルを会員に見ていただく積りで、岩井先生に映画を利用したモデル授業をお願いしたわけである。岩井先生が目的があいまいだと指てきされたのは、斯



掠な会の目的や肉催計画をとらしてみた。我々の映画教育についての認識にあつたのである。

研究会の前日の午後おそく、先生を名古屋に迎え、岡崎の宿舎まで御案内をした。前述のようなまずいいきさつはあつたが、面接の上我々の立場を申し上げれば、きつと解って頂けるといふ自信はもつていた。扱て宿舎について着換えを済まされるや否や、忽ち、今回の研究会をめぐつての願向やら意見が矢つき早やに発せられて、なみいる人々を大いに面喰わせた。先生は物争をすばりと云われる方で、意見が明快である。

そこで論議されたことをかいつまんで紹介すると、我々は映画協会を設立して以来約十カ月、微力ながら映画教育の普及に努力して来たが、一向に成果があがらず、折角の教材フィルムが利用されてない。その原因として、全市的に見てその施設、設備が不十分である点が先ず考えられるから、いわば施設、設備の基準及びその方法などを研究してその促進を図りたいという意図を説明した。

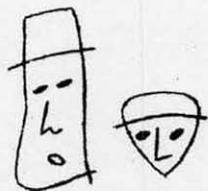
この説明に対し、先生はどうしても納得されなかつた。映画教育の問題を考えるのに、先ず施設、設備を取り上げるのは如何にもおかし。本末でんとうである。それは当然学習指導の問題から出発しなければならぬ点を強く主張された。即ち新教育の要求する教材に現実的なものである。その意味で現場学習が最ものでまじいが、いつも現場の教材を得るといふことは困難であり、単元によつては現場教材から学習し得ない場合が往々にある。例えば社会科二年の「ゆうびん」の如くで、ゆうびん局の現場学習ではこの単元の目標は達せられない。事実映画「ゆうびん」は、人と人との温い友情を交すというゆきを充分理解させ、郵便局の技能などを余す所なく描き出している。要するに先生に、新教育の立場にもとずいた学習指

導においては、当然教材映画が要求されるわけで、映画教育の出発点をこゝにおいておられるように受けとつたのである。今日我々は映画施設、設備の研究はどつてもよいなど、は決して思つていない。然し斯様な立場にたつと、ともすれば何か映画教育といつた特殊な教育方法があるかの如きまちがいにちり、今時に学習指導という面から遊離しやすい欠点がある。

元来愛知県などでは、ナトコ映画から視聴覚教育などということが叫ばれるようになった。前述の如き、先生の主張から云えば視聴覚教育というようなことは誤解を受けやすい。

この際、映画による学習指導法といつた意味の簡潔な熟語がほしい。換言すれば学習指導法の面から改めて、再検討の要があるのではなからうか。

それはとにかく、一日も早く実践に入らなくてはならない。



視察報告記

根石 阿部 俊 房

昭和三十年二月十五日、美川中学の石川先生と、富山県中新川郡上市小学校を中心に、視聴覚教育の実態を視察した。八カ町村を合併した岡崎市の視聴覚教育は、組織や運営の点で当然変更があると思われるので、視察の目標をそこにおいた。

雪の富山に着いた其の晩、幸い関係者のはからいで、富山県々教委の小沢圭平、下新川郡泊小学校長の岡先生等、中心になつて活動しておられる先生方にお会い出来る幸運にめぐまれた。

小沢圭平は一二年前まで、中新川郡の課長をして居られた方で、此の郡の映画教育の生みの親といつた人である。従つて映画教育については、固い信念と深い熱意をもつておられ、実に話題も豊富であつた。我々はあらかじめ、具体的な調査事項を用意してしたので、種々おたずねしたのであるが、いずれも貴い体験を経てこれらただけに、明確な御回答がいたゞけて有益であつた。

其の主なものを二三点紹介すると、先ず映画教育と新

教育との関係である。新教育の一つの特色は、教材が生
のもの、即ち現実的なものでなければならぬ。然しな
からその範囲には自ら限度があり、実情は教科書や教師
の説話などで補っている。これは単に学習指導法の適否
の問題ではなく、教材の問題であつて、教科書の根本問
題である。教科書をまじめに考えれば、自然映画教育の
問題を考えざるを得ないというように割切つて居られる。
その正否は簡単には断定出来ないが、充分考慮しなけれ
ばならない点であると思つた。

富山県は此の数年前より綜合開発計画が立案され、教
育も亦、その中心的役割を担つている。此の郷土の開發
計画の中で、教育の、いな学校の果す役目が眞剣に考慮
されている。従つて、地域から浮いた教育、現実から離
れた教育はゆるされていぬ。それだけに現場の学習が
行われ、映画学習が重視されている。

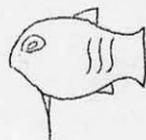
翌朝はひどい吹雪であつた。表日本と裏日本の相異を
しみみ味うような日であつた。早朝中新川郡上市小学
校に向つた。当日は新年度のフィルム購入試写会をかね
て映画教育の研究会が行われた。上市小学校々長の清田
先生は映画研究会長であり又校長会長をかねておられる。
二年生の社会科（ゆうびん）と五年生の理科（光の屈折）
の授業が行われ、私は二年の社会科を參觀した。最初
数分間ゆうびんについて児童と話し合いが行われた。其

の中に他府県へ宛葉に出ているお父さんに手紙を出した
話があつて、土地柄をあらわしていた。やがて映画の具
どころについて極く簡単に説明があつて、四十年輩の女
教師が映写をはじめられた。映写が終ると教師は児童と
の話し合いの中に、児童の見たこと、感じたこと、知り
得たことを語らせながら、板書して整理していかれた。
話し合いの中心は、郵便局の機能でなくて、ゆうびんの
もつ機能にあつた。最後のまとめは、映画の要所を画に
して黒板の板書に合せて貼つていかれた。此の授業で最
も注目したのは、一時間がるつと映画についての学習
であつた点と二年とは云え、映画について話し合つ際
自分の感じなり、気付いた点を正しく、よく分るよう
に表現するのに一驚した。

授業後清田会長は晝重及時間を割いて次のような点を
語られた。映画教育は図書館教育などと同様に、新教育
の有力な学習指導法であり、同時に教材である点を先ず
はつきりさせた。その後とはかく映画を学習に使つて
見る。同時に教材としての映画を充分研究して学習資料
を用意する。短日月では決して普及しないなどについて
力強く語られた。我々は其の控え目な態度の中にも確固
たる自信をもつておられる会長に敬意を表しつゝ、やがて
辞去した。紙面の都合で、組織、運営の全部にふれられ
ないので、後日報告する予定である。

新購入 (三期分)

フィルムの解説



渡 辺 尚 三

社会科関係フィルム

① 日本のデンマーク農場(二巻)

雪深い東北の山形県新庄にあるデンマーク農場のようすを、約一カ年七回にわたって正確に記録したものである。

荒地を拓いた四丁歩の農地に九頭の乳牛と二頭の耕馬によって合理的に行われてゐる酪農経営のようす。牛の飼料を中心とした農場の耕作、細心の注意がはらわれた合理的畜舎、労働力の適正な配分などを、ありのままに示して、この中からいろいろの問題を把握させようとしている。

② 坊やの世界一周(二巻)

欧米視察にいつてゐるおとうさんから、留守宅の子供へ来た手紙を主題として、世界の都会のさまざまを

描いた映画で、戦後非常に変化してゐる各国の都市のようすがよくわかり、子供たちに今日の世界の都市の実際を知らせることができる。

③ 滅滅化は進む(二巻)

日一日と滅滅化されていく電力会社の現況を示して新しい科学の力を現実を通して認識させようとしてゐる。その内容の概略を示すと

○ 通信界の偉カマイクロウエーフ

○ 発電所や変電所の発電送電状況を示すテレメーター

○ 山上にあるマイクロウエーフの無人中継所

○ 超音波を利用した電源地帯のタム(厚味測定器等)

○ 発電所の工業用テレビジョン

○ 送電線の故障に活躍する、テレメーター、故障点指示装置、保線車、ヘリコプターなど

④ けいさつのごと(二巻)

この映画は、われわれの現実の社会生活の中に、警察の組織的な働きを必要とする条件のあることを、具体的事例によって児童にとらえさせようとしている。

○ 生活現実が警察の仕事が必要としてゐることの認識

○ 道路における遊びの危険

○ 交通を妨害してゐる商店街の荷物

○ 盛り場における不良の出没や、けんか

○ 土地不案内の人の不安

○ 夜の取締りの不完全や洗濯物の取入れ忘れ

◎ 大衆の生活の不安の解決に努力する警察官の働きに
対する理解

○ 交通整理のために働く警察官の仕事の意味

○ 交番の役割

○ パトロールの社会生活における意味

◎ つぎつぎに起る犯罪に對して 警察は組織的な活動
をする必要のあることの理解

○ 自動車強盗事件を題材として

○ 犯人の姿をあきらかにするための調査

○ 警戒網をけるための現場に對する命令

○ 他の警察署への協力依頼による警戒網の拡張

◎ 社会全体の協力の必要の理解

○ 交通事故の統計 犯罪の統計など

⑤ 新風土記——北陸篇——(三卷)

北陸三県の歴史と風土を描き 北陸を運命づけてい

た雪 特に従来災害しかもたらさなかつたこの地方の
雪が電力として活用され 北陸の経済機構を変えてゆ
くことを示している。

これはこの対決する古きものと新しきものゝ姿をと
らえたローカルカラー豊かな産業風土記である。

⑥ 開発を待つ各地点(三卷)

この映画は一九五三年四月現在 日本各地に於て、
電源開発を實施している状況をカメラに集めたもので
ある。

理科関係フィルム

① 火山三原山 (二卷)

日本の代表的活火山の一つである三原山の昭和二十
五年及二十六年の噴火を中心として 大島の位置 景
観 成因 さらに火山活動を科学的にしかも平易に説
明したものである。その内容の大略は

○ 大島の位置 景観 産業 風俗など

○ 昭和二十五年七月〜九月に亘る噴火の状況

○ 過去何回かの噴火の跡

○ 昭和二十六年二月からの噴火の実況

② ガラス(二卷)

この映画の内容は

○ ガラスの歴史

○ 普通ガラスの製造方法

○ 板ガラスについて

○ 強化ガラスについて

○ ガラス纖維

○ペアクラス

などをあげて、各種ガラスの製造のみでなく、その用途についても説明をしている。

③ 動物の生長（二巻）

この映画は、児童にとつてみぢかな三種類の動物（にわとり、いぬ、うし）について、それらが生まれて間もない頃からひとりたちで生きるようになるまでの成長のありさまを描いたもので、児童の観察力を養い、動物の生能に関する理解を深めるようにつくられている。

これによつて児童のもつている疑問を解決すると共にさらに進んで、みぢかな動物や植物に対して科学的な眼をむけるように意図されたものである。

④ ラジオの話（二巻）

今日私たちの生活にとつて、ラジオは必需品である。そのラジオはどのような装置によつて造られているかを示したものである。

まず、ラジオは電話と同じように、声を電流に変えて相手に送るものであるが、電話の電線のかわりに目に見えない電波を使っていること、それには高周波電流でなければ電波がとび出さない。

放送所 送信所における送信の方法について解説し

ている。

つきに、この電波をとらえて元の音にもとずけきをする受信器について

アンテナ、コイル、バリコン、真空管などの働きについて解説を進めている。

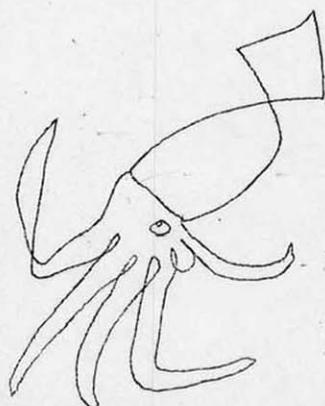
最後にスーパー受信器について説明を加えている。

⑤ 生きているパン（二巻）

イースト菌とはどんなもので、どうしてパンの製造に利用されているかを描いたものである。

暗視野顕微鏡撮影と、微速度撮影を用いて、科学的に、しかも興味深く説明し、微生物と人間生活の深い関係をわからせようとしている。

さらに、イースト菌だけでなく、乳酸菌やロース菌、こうじかびや青かびについても解説をしている。



今から丁度二昔前時分の事である。市内の或劇場で入場料十銭を支払つて、時代劇の活動写真を見た事がある。中へ入ると辯士が（解説者）「東山三十六峰草木も眠る……」と浪曲調そのまゝにやつている。時には場面と辯士の言葉のずれがあるが、皆何の不思議も無く、手に汗を握つて見ていたものである。一辯士の良し悪しが劇場の盛衰に關係するとまで言われていた——ところが途中でぶつくりと名調子が止まった。スクリーン横の芸術い弁士席に人影がない。これはおかしいと座つていた観客が前へ飛びだした。何事ならむと、我も我もと押し寄せる。人山の下から覗いて見ると急病で卒倒したのである。大人に抱かれています。この騒ぎの最中も映写は続行されてきたが、映写技師もやつと、機械の騒音以外の雑音に気がつき、スイ

視

たり

ツチは切られ映写は中止である。弁士は医者へ運ばれ、その交替もないまゝ、弥次疵刺の中に始まった。しかし、説明の無いこの映画も罵声の前には中止するより外なく、遂に翌日に見せるという確約で暮になつた。

この事件を

考えてみると

見る事だけで

聴いたり

試したり

は本当に問題の中心に思ひ触れることが

出来ないかをくづくくと味わい、又

写真とすれのある弁士の説明でも、

あれば理解はどんなに早いかを考え

させられたのである。この弁士つきの

の映画が、数年を経ずしてオールト

ーキーに徐々に切り替えられ、やが

て弁士席は舞台裏へ片付けられてし

まった。今やトーキーは普遍化され特別に物々しく騒ぎたてられなくなつたのである。その説明か物を見る時直ちに聞けるスピーデーの世の中に変化したのである。

国内の いや世界中の出来事も

たちまちセルロイドの帯に絵と紐の

如き録音を刻んで、何処の国へも

又何人にも知らせる事が出来る。全

く色々な面で我々の最も忠実な先生

である。現在では映画は、娯楽から

教育教養の面に使われる比重が大き

く傾いて来ている。誠

に結構な話である。特

に抽象的な言葉や理窟

では理解出来にくい児童の教育に於

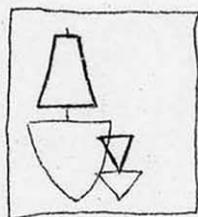
ては全く好材料と言わねばならない。

こゝに学習発展の利用価値が存在す

ると思われる。しかしあくまで目的

の道具として有効に且惜しみなく使

いたいと念願するものである。



母子船

美合小六年

村上靖子

私達は、毎月一回講堂で映画を見せてもらいますが、今まで学校で見た映画の中で、一番よかったなあ、と思う映画は、何と云ってもこの「母子船」という映画でした。「愛は火よりも強い」ということはよくありますが、親子の愛情というものはこんなに深いものかということ、この映画で強く感じました。その映画のすじと云うのはこうです。

トモ子という子が、けたのはなおをきってしまつて家へもう一度すげに帰った時のことです。おじいさんと、おかあさんが話していました。「トモ子はほんとうの子ではない。この言葉を聞いてしまったときのトモ子の驚き。そして、けたのはなおをきつたというところが、これからのトモ子の身の上に不幸となつて、ふりかゝつたことは、ほんとうに気の毒だなと思ひました。おかあさんが、トモ子をおじいさんと旅に出させた時、私は、なみたがとめともなく泣きました。トモ子は、すなおに、おかあさんとわかれましたが、おか

あさんは電柱のかげにかくれて、トモ子の姿を、なみだをふきく見おくっていました。おじいさんと旅に出るからは、とまる所もあまりなく、山の中で雪にふられたりして、ほんとうにかわいそうな人たちがな、と思ひました。おじいさんが苦勞しすぎて、山の中で死んでしまつた時、トモ子は、これからどうするのか、と思つて胸がつかまる思ひでした。でもさいわいにも、農場の人にすくわれた時は、よかつたなあ、と思ひました。一方家では、おかあさんがトモ子を心配して農場へたすねていきました。

トモ子が農場のおねえさんと馬車で駅まで行く時、おかあさんが橋を通つてゐるのに、通りすぎてしまつたのを見て、運の悪いというものはこういうものかと思ひました。トモ子が出るパレーの会の時にも、パレーが終つてからトモ子が気がついて見ると母がいないので、驚いてあちらこちらさがしあてると、おかあさんはそばの木のかけで泣いていて、トモ子に合ひなかつたのでトモ子の方がかわいそうになつてしまひました。複雑な母と子の愛情がこの映画の中にみなぎつていて、長い時間のたつたのも忘れてほんとうに心をひかれて見ることができました。トモ子にくらべて私の身の幸福をほんとうにありがたいと思ひました。そし

て感謝の気持ちでいっぱいになりました。私はもつとものとたくさん映画を見せてもらいたいものだと思いません。一月一回の映画を楽しみに待っています。



月を見て

岡崎小五年 長坂 睦子

私はまた一二年生の時、月というものは、満月の時中でうさぎがもちをついているものだと思っていました。ところが五年生になって星座の勉強をすると、月は発光体ではないと云う事や、いろいろの事がわかるようになりました。でも「月の表面はどうなっているのだろう」と思いました。そして月の表面には幾千もの「ふんかこう」があつて、いままでになんの変化もないと云う事もわかりました。日蝕、月蝕のおこるわけもわかりました。あの「月」という映画を見て私はとても勉強の役に立ったと思えます。

岡崎小五年 藤江 和子

月の表面はでこぼこしてふんか口のあとがある。ふんか口の広さはどれほどかなと思つた。それを私たち

が地球上から見るとうさぎがおもちをついているように見えるのだと思つた。潮のみちひきは月のまわつていく方こうへとおこるのがよくわかる。月が地球のよこへくるとよこの方がふくらむので地球が卵型になつて、とてもおもしろい。

二十四の瞳を見て

羽根小五年 大倉 京子

この映画を見て私はたいへん悲しく感じました。映画館を出て私の頭に残つていたことはたゞこの感じだけだったので、とういう場面からこの悲しい感じを受けたのだらうと私は考えて見たいのです。この映画は瀬戸内海のある小島を背景にして、そこに住む一人の先生と十二人の生徒の物語です。悲しかったことが二つ三つあります。あの十二人の生徒は大石先生がすぐだからこそあの速い道を歩いて見舞に行つた。そしてバスから大石先生がおりてきた時、あの十二人の生徒はうれしくて泣いたのだらう。ほんとうにいい先生です。私は頭に強く残っています。それから二つ目に悲しかったことは、せんそうに行く時、大石先生のおし

えを受けた男の子が歌を歌いながらわかれて行くテーマを持ったあの大石先生は泣いていた。第三に頭に残ったのはこれなのです。小さい時の子が大きくなってお世話になった大石先生にかんげい会をひらじてくれた。そうしてその家まで来た時、大石先生は顔に手をあてて泣いてしまった。それはみんなで送ってくれた自転車でした。先生のおしえを受けた子で兵たいに行つた中で、たった二人しかもたらなかつた。けれど一人はめくらで帰ってきてしまつたのです。先生がびつこになつた時、みんなで記念にうつしたものです。先生がその写真を見て、めくらの子がそれを受けとつてまるで目が見えるようにぼくの横にいるのはあの子でその横にいるのは大石先生がいるとみんなにいうのだった。

二十四の瞳を見て

岡崎小五年 祖父 江 浩 子

私は「二十四の瞳」を見て、とてもよかつたと思ひました。映画に出て来る十二人の生徒はみんなかわいらしい生徒ばかりでした。私はあの映画で特に感じた

所が二三ありました。一番始めに先生かおとし穴に落ちて足のほねをおつて、歩けなくなり、男の先生をよんでリヤカーで、病院へ運ばれて行つた時、ほんとうに、お気の毒でした。

私は思わず涙が目にたまりました。かわい、生徒が四キロの道を歩いて行く途中、悲しいやら、おなか、すくやらでみんな泣きだした所などがほんとうにかわいいと思ひました。

それから月日はゆめのように流れて早や六年生を卒業する日がやって来ました。さびしくみんなと別れ先生に「お世話様になりました」と、言つて別れて行くのがとてもかわいそうでした。私達も、もう一年で十二人の子供のように、なつかしい学校も先生も後にして中学へゆかなければなりません。一生懸命勉強や運動にはげみたいと思ひます。

それからほげしい戦争が始まりました。かわいい教え子も戦死してしまいました。先生はいつもおほかへ行つて花をかえてあげたり、水をやつたりしました。何年すぎても教えた子供をいつまでも、いつまでも、かわいがつてくれたかと思つた時は、大石先生のありかたさを、しみじみと、感じました。

映画劇の上映禁止をめぐって

O・K 生

十六ミリ劇映画上映禁止の波紋は、その後どのように発展しているであろうか。御承知の如く、冷い戦斗状態が、半年に亘って過ぎ去つて来たのである。元来学校視聽覚教育即ち学習教材映画と劇映画とは何等密接な関係があるのではなく、従つて吾々はこの問題に因して、とやかく申す必要もないのである。一方映画館がこの様な手段によつて、昨今のテフシの波を切り抜け様とした苦肉の策は、何ら効果が無く、一時の気休めに過ぎなかつたばかりではなく、この問題が一般大衆に及ぼした感情的な悪影響は拭い去ることの出来ぬ禍根であつた事は、二十四の瞳が如実に物語るところである。当初は吾々も十六ミリ劇映画が映画館の収入に多少の支障はあろうと考へたが、事實は全くその逆で統計的に表われる何ものもないらしい。元より市内すべての映画館が、この様な目先の利益にのみ走つての営業でなく、寧ろ無料の十六ミリ映画が返つて映画館の映画鑑賞熱を向揚させ、映画館の繁栄に大きな役割を果すものと感謝される向もある。

従つて組合の会合に於ては、しばしばこの問題が論議されており、豊橋市に於ては一足先きにこの問題は解決されていると聞いてゐる。この度当市に於ても館主が組合脱退の内紛をつゞけてゐる事は、二月四日の新聞紙上で明らかであるが、岡崎市の映画館組合だけが、どうしてこんな頑迷な態度に出るのか、何としても理解出来ない。十六ミリ劇映画が、映画館の利益に、何ら関係がないばかりでなく、逆に繁栄の役割を果す傾向すら有る事が一部に於て明らかにされ、又映画の公益性から一般市民に与えた悪影響と云い、これほど愚劣な商法はまずないと云つても過言ではあるまい。世の中は持ちつ持たれつと言うのが、常道であるのだが、我田引水の組合ならばなおさら、劇映画上映禁止の如き処置を構するは、百害あつて一利なきことの判断を誤ることこそ不思議であつて、警察日記が物語るが如き商法は、さほど賢明ならざれども、誰しも思い立つ事ではなからうか。然し市内の一館と雖も映画の公益性から見ても又斯道発展の爲の營業法にして、も吾々の意の内を汲み取り共に努をほしまない館主の有つた事は喜ぶべきで大衆の爲にも子供にとつてもより民主的な映画館であり、益々良心的な組合として育つ爲に、とこまで、その労を惜しむものではない。

映写機の購入について

広幡小 堀 和 正 孝

二十九年年度の始めに創立八十周年行事を、とのように行うかについてP.T.Aの役員と学校側とで会合いたしました。その結果祝賀行事と記念事業の二つを行ってばという話にまとまりました。

祝賀行事としては沿革史の発行、祝賀式典、運動会、音楽会、展覧会。記念事業としては幾多の事業が出来ますが、その中から最も記念事業としてふさわしく、又児童に直接関係の深いものを五つ選びました。

- (一) 映写機の購入
- (二) 足洗い場の設置
- (三) 図書館の充実
- (四) 校内外の美化
- (五) 給食器洗滌機

その五事業についてP.T.A側と学校側とで協議した結果給食器洗滌機と映写機を購入してはという原案が決定いたしました。原案が決定しますとすぐ実行委員会を結成しました。実行委員会の組織は町総代全員、市会議員、県会議員、社会教育関係、P.T.Aの代表で原案と諸経費捻出方法について審議いたしました。経費は町費で三十五万円、学区の篤志寄附二十五万円、その他として同窓会P.T.Aから寄附をあおぐ事に決定いたしました。映写機の調査選定方法が依頼されました。実行委員会側から

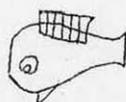
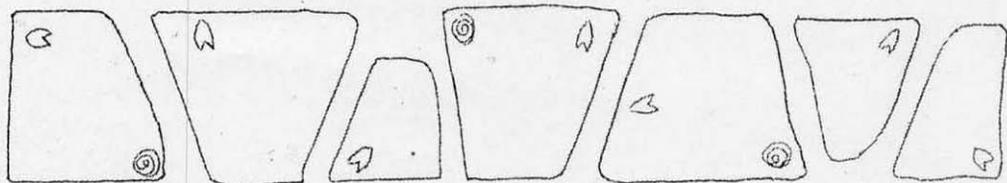
学校に調査選定がまかされても、どんな映写機が有るのかわかりません。今迄市のライフラーリから廻された外国製映写機「ナトコ」だけで映写機に対する知識も興味もなく、たゞ写ればよいと思っていました。

早速、カタロクをとりよせ、研究してみました。会社は東京本社の北辰と名古屋本社のLMの二社の映写機がありました。が「北辰がLMから映写機の性能が良いか悪いから二年、三年と経過して、はじめてわかるものであります。それ故選定が一層困難であります。参考に当市のライフラーリ映写機を購入されました学校に、機械の調子や故障の有無をきいてみました。が「LMの方がよい」「北辰の方が良い」と半々の意見でしたので、どちらがよいか判定がつかまませんでしたので、実際に機械を見試写してみたらと思いましたので、LMの会社と、北辰の代理店に行き、映写機を調べに参りました。モーターの調子や二社の映写機の長所と短所、県下の映写機の分佈状態、台数等を比較調査した結果、学校側の態度がまとまりましたので、実行委員の代表と最後の打合せをいたしました。実行委員代表、学校長、教頭、視聴覚委員の私と北辰代理店を訪れ、購入と決定いたしました。



29年度を省りみて

- 七・一四 午前十一時より、美川中学校において、理科指導法の研究会を開催した。
- 七・二〇 午前十一時より甲山中学校に於て運営委員会を開き月報の原稿依頼、映画館における団体鑑賞、ホームトーカーの代金支払い、八月の巡回映画等について快議した。
- 八・二七 午後三時より市役所宿直室に於て運営委員会を開き、月報研究会の開催、九月の巡回映画計画等について快議した。
- 九・一四 午後四時から美川中学校において第二期購入フィルムのご試写会を開催して、購入フィルムを決定した。
- 九・二五 午後五時より市役所に於て運営委員会を開き、研究会、映画館の団体鑑賞、十月の巡回映画等について快議した。
- 一〇・三二 午後四時より市役所に於て研究会の日程等、開催計画について快議した。
- 一・一三 午後二時より市役所会議室に於て研究会の準備、創映画の上映の問題、十一月巡回映画の計画等について快議した。
- 一・二七 午後一時より六名小学校において研究会の準備をした。
- 一・二九 午前九時三十分より六名小学校において愛知県映画教育研究協議会を開催した。
- 一・一七 午後三時より、市役所宿直室に於て教材フィルム利用促進懇談会を開き市社会科、理科主任の参集を得て種々話し合った。
- 一・一八 午後三時より市役所会議室において運営委員会を開き、第三期教材フィルムの購入、巡回映画、大会の反省等について話し合った。
- 一・二四 午前十時より美川中学校に於て第三期購入フィルム試写会を開き市社会科関係者の参集を得て、購入フィルムを決定した。
- 二・二三 午後三時より連尺小に於て巡回映画其の他につき快議した。
- 五・二六 午後二時より、岡崎市役所議場に於て岡崎市小中学校視聴覚教育協会の発会式を挙行した。
- 式後運営委員会を開き、六月巡回映画、技術者講習会、第一期購入フィルム試写会開催等について快議した。
- 六・九 午後三時より市役所宿直室に於て運営委員会を開き、フロッツク試写会、月報発行、巡回映画、学習指導法の研究会等について快議した。
- 六・二九 午後三時より市役所会議室において運営委員会を開き、七月巡回映画、月報第二号の発行、第二期購入フィルム、研究授業の開催等について快議した。
- 七・一三 午前十時より、六名小学校において、五年生社会科の学習指導法の研究会を開いた。



あと

が
き

研究協議会を始め、幾多の充実した内容と、大きな今後の問題を残したあわたましい一年も、劇映画上映禁止等の思わぬ障害を投げかけ終ろうとしています。

視聴覚教育も皆様の御協力でとうにかその責を無事はたすことができ顔見合せ、一同「ほつ」としたところであります。

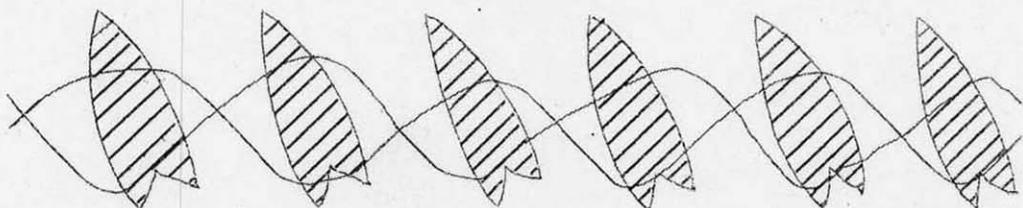
協会誕生と共に、編集者一同、一年十号を目ざし、奮闘を続けて来ましたが、こゝにも色々な問題が、七号を出すにとどめてしまいました。

しかし、この小説が協会の在り方を

表示する責任の重大な争を痛感し、来年度こそはと、一同張切って居りますので、どうぞゆるしてやって下さい。

— 調査部 —

「視聴覚教育」六七合併号
昭和三十年三月 発行
編集 視聴覚教育協会調査部
発行 岡崎市小中学校
視聴覚教育協会
印刷 岡崎市明大寺町
協栄社 フラナー孔版社



トーカー修理
 アンプ修理
 テースレコーダー修理
 映写用電球 }
 幻灯用電球 } 販売
 シンクロ電球 }

シバタラジオ

技術部及び営業部
 (康生町電停前 TEL. 931)

林軒のパン・菓子

雲大屋商店

井田電停前

ヨコイ万能実物投影機

北辰16ミリキ映写機

実物投影機 ¥59,000

フィルム式映写装置 ¥6,500 手札判6x6判映写装置 ¥6,000

顕微鏡投影装置 ¥3,000 機械ケース ¥4,000

附属ケース ¥1,500 送料 ¥2,000

合資会社 ヨコイ教映社

本社 名古屋市中区鶴舞町38-1 電話中(24)3213番

東京営業所 東京都中央区銀座8-1 電話銀座(57)0797番

テレビと

家庭電化器具

吉田無線

岡崎・銀座 TEL. 380